

在宅医療におけるがん診療と 多職種連携の課題と必要性

北見地域のがん患者さん支援の
充実に向けたセミナー2023

2023.7.18

医療法人社団 邦栄会 本間内科医院

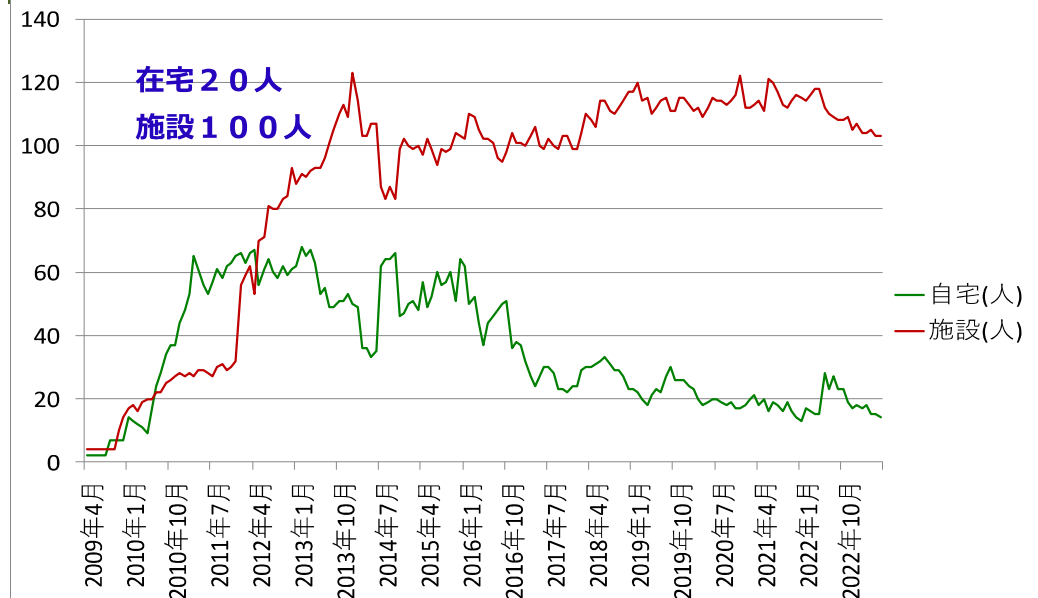
医師 本間 栄志



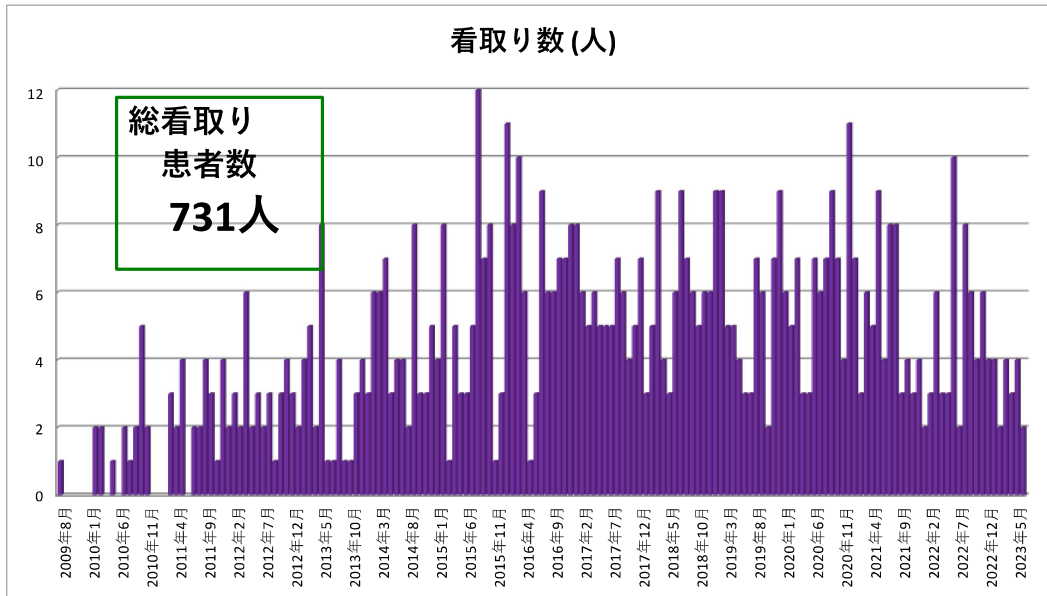
当院の在宅医療の特徴

- 在宅療養支援診療所という、在宅医療の契約を結んだ患者さんに24時間に対応するタイプの診療所。
- 癌の終末期や難病、介護2以上などの比較的介護度が高く、通院が困難な患者さんに対応。
- 訪問歯科医師、訪問看護師、訪問薬剤師との多職種で連携し、クラウドシステム等にて患者情報を共有し、在宅医療をサポート。

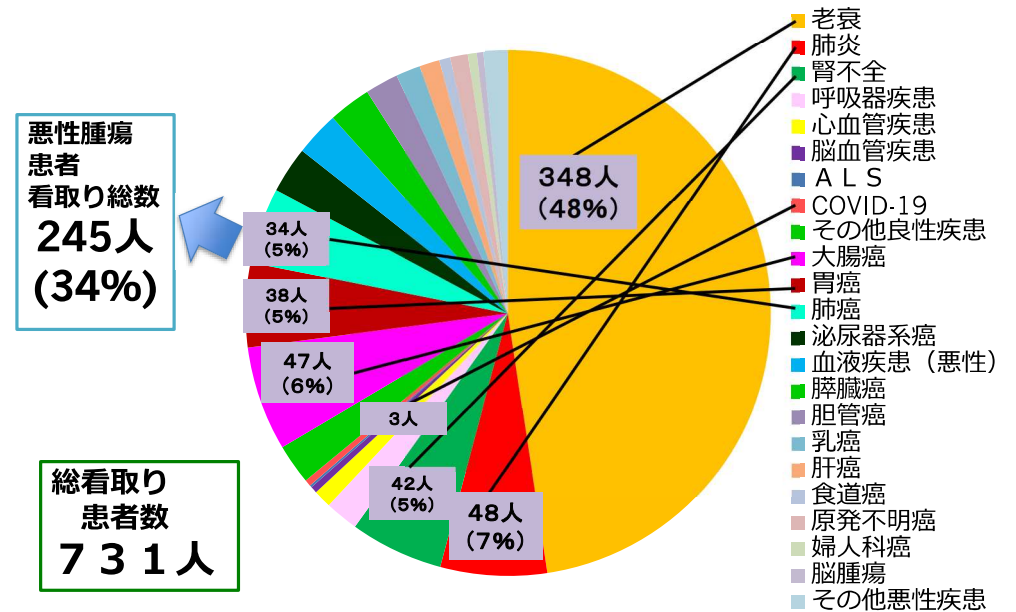
当院在宅医療の現状



当院で看取らせて頂いた患者数



北見地域のがん患者さん支援の充実に向けたセミナー 2023 看取らせて頂いた患者の死亡病名



在宅医療におけるがん診療

- ・まずは在宅医療開始前のACPが重要！
(患者さんと家族の考えや希望を聞き、診療方針をブレないようにする。)
- ・多職種が退院カンファや初回訪問時に集まり、その場で様々な情報共有と必要なサービスの検討を迅速に行うことが重要。

在宅医療におけるがん診療

<在宅緩和治療>

- ・疼痛コントロール (内服、外用、注射)
 - ・発熱や倦怠感、不安、不眠、せん妄の対応
 - ・家族の精神的ケア
- ⇒ 終末期のがん患者さんは、病状や状態が刻々と変化していくため、多職種間での情報共有と迅速な対応が必要不可欠！

在宅医療における多職種連携の課題と必要性

各職種で連絡しやすい時間帯が異なる。

訪問診療医：AMは外来、PMは訪問診療

訪問看護師：1日中訪問看護

訪問薬剤師：1日中外来調剤

⇒緊急度・重要度・内容に応じて、様々な連絡ツールが必要。

在宅医療における多職種連携の課題と必要性

私が考える多職種連携で

最も重要なこと！



普段から顔が見える

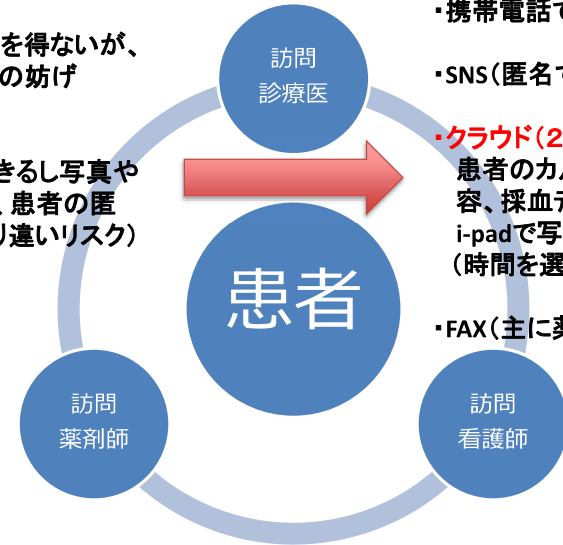
関係づくり！

在宅医療における多職種連携の課題と必要性

・携帯電話で会話
緊急の時はやむを得ないが、それぞれの業務の妨げ

・SNS
既読の確認もできるし写真や動画も送れるが、患者の匿名化が必要(取り違いリスク)

・FAX
外からは無理



・携帯電話で会話(緊急時)

・SNS(匿名でも可の内容)

・クラウド(2種類使用)
患者のカルテ内容や処方内容、採血データを閲覧可能。
i-padで写真や動画も撮れる。
(時間を選ばない、既読確認)

・FAX(主に薬剤師からの報告)

ご静聴ありがとうございました。

